

道標ない旅269

“269”とは南郷中の全校生徒数です

平成30年4月26日(第4号)

校長 益田 孝彦 875-9494

◆◆ 21日・22日と春の大会が連日行われています。 ◆◆



21日(土)は、バレーボール大会を見に行くことができました。攻撃・守備の形が出来上がりつつあるこの先が楽しみなチームだなど思いながら観戦しました。結果は、久木中学校にセット2-0で勝利した後、逗子中学校にもセット2-0で勝利。見事優勝していました。

同じ日、サッカーも南郷中でリーグ戦を戦っていました。残念なことに今回は見学できませんでしたが、久木中学校を6-0で下し、さらに南下浦中学校も5-0で破り、リーグ戦をまだ残していますが、早々と日曜日に行われる決勝トーナメントに駒を進めたとの報告がありました。中々強いチームのようです。日曜日は是非応援に行きたいと思っています。



22日(日)は、野球の大会に行きました。南郷・久木・沼間の3校から構成された、「逗葉」チームという混成の編成チームです。1試合目は、逗子中学校チームを11-0で下し、迎えた決勝戦の相手は、葉山中学校です。点を取り合う中、終盤1点差に詰め寄った直後の最終回に3点を奪われ、4点のビハインド、なんとか1点は返すものの、残念ながら4-7で敗れ2位という結果でした。



同じ日曜日、久木中学校ではバスケットボールのリーグ戦が行われました。女子チームの試合は観戦できませんでしたが、逗子中学校に敗れました。男子は葉山中学校と対戦しました。序盤から優勢に戦いを進め、中盤相手の3ポイントシュートの精度が上がり、追い上げられる局面はありましたが、要所要所を押さえることができ、見事勝利していました。

春の大会は、上位大会につながる大会ではありませんが、新チームとしての強みや弱みを把握する上で大切な大会です。特に試合を通して相手チームにつけ込まれた欠点が見えたとしたら、これからの練習で克服していけるかが鍵となります。この時期、新入部員を抱え、その育成もしながら、夏の大会を目指すのは簡単なことではありません。まさにチーム力が問われるのだと思います。勝っても負けても、おごらず、腐らず、さらに練習に励んでほしいなと思いました。

◆◆ 避難所運営委員会を開催する下準備が進んでいます。 ◆◆

葉山町の防災計画が刷新されました。「避難所」関係の呼び方や定義に変更がありました。

- ①指定避難所：震災時に自宅が倒壊するなど、住居を失った人の一時的な避難生活の場所。避難生活の支援拠点となる施設。 葉山町の小・中学校6校が指定された。
②に示す指定緊急避難場所と指定避難所は兼ねることができる。

②指定緊急避難場所：住民等が災害から身の安全を守るために緊急的に避難する施設・場所

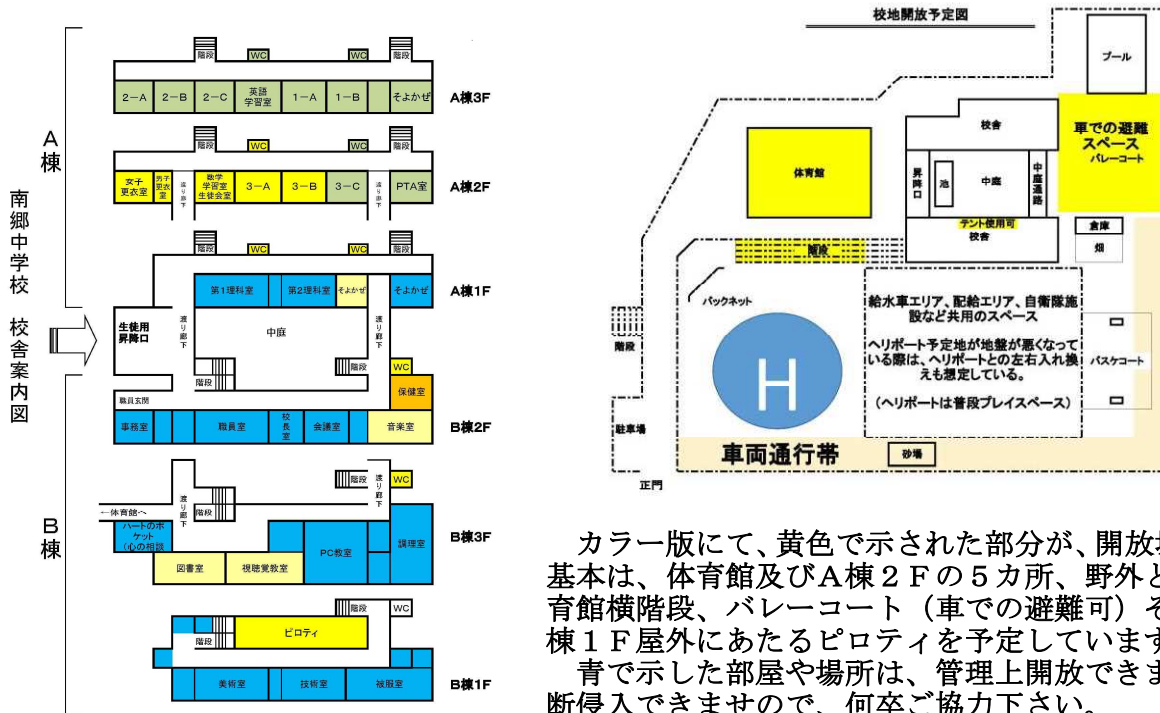
③自主避難所：町が発令する避難勧告等に基づかず、自らの判断で自主的に避難できる避難所。町内会の判断や町の要請で開設する。

*②③は、基本的に、各町内会・自治会等の会館や児童館などで同じ施設が災害の段階で呼び名が異なるだけのものです。

④広域避難場所：大規模な火災が発生したとき、輻射熱や煙などの火災の危険から一時的に身を守るために避難する場所。葉山町は南郷上ノ山公園1箇所のみ指定。

ということで、南郷中学校・長柄小学校は、学区の指定避難所として、地震においては、基本的に葉山町が震度5弱以上の震災に見舞われたら開設されます。

本校の震災時の施設開放計画は以下の通り。(是非南郷中HPにてカラー版で確認下さい。)



カラー版にて、黄色で示された部分が、開放場所です。基本は、体育館及びA棟2Fの5カ所、野外として、体育館横階段、バレーコート(車での避難可)そして、B棟1F屋外にあたるピロティを予定しています。青で示した部屋や場所は、管理上開放できません。無断侵入できませんので、何卒ご協力下さい。

震災の規模に応じては、一時的に、音楽室・視聴覚室・図書室、さらにはA棟3Fも開放いたします。ただし、

応急教育が再開された場合は、生徒の授業場所として、黄色の部分より早い段階で開放を打ち切りますので、何卒ご理解・ご協力お願い申し上げます。

上記計画については、南郷中HPトップページ右側にある「安心・安全の取組」にて、掲載しておりますので、そちらで詳しくご確認ください。

◆◆ 地震避難訓練を実施しました。 ◆◆



24日(火)雨が心配されましたが、無事地震避難訓練を実施することができました。整然とした避難で、ふざける生徒もなく、予定時間よりも早く避難ができていました。校長としての講評では、実際震度6位の地震となると、教室で机が凶器とならないよう必死に押さえつけ身の安全を確保しなければならないこと、廊下等もガラスの飛散に注意しながら怪我がないように避難すること、生徒玄関先のコンクリートの段差がひどくなっている気をつけながら避難すること、等を話しました。実際にはけが人や、繰り返す余震もあることでしょう。そんななか、無事命を永らえて、地域を支える若い力として頑張ることを期待しています、と伝えました。

◆◆ 全国学力学習状況調査(4/17)終わる。そのテストを覗いてみると… ◆◆

今回は理科の問題を見てみましょう。一言で言えば「〇〇のことを何と言いますか?」といった知識(記憶)を尋ねるような問題は、ほぼなくなりました。その代わりに、一定の知識をベースに、
 ①実験結果の表を解析して、実験結果から導き出せる一番筋が通った回答を選ぶ、
 ②実験結果のグラフを解析して、実験結果から導き出せる一番筋が通った回答を選ぶ、
 ③実験結果の図を考察して、実験結果から導き出せる一番筋が通った回答を選ぶ、
 ④追加の実験をする目的にかなった、実験方法や実験条件を正しく見抜く、
 ⑤実験結果から生まれる「新たな疑問」を正しく言い当てる。等々、教科書から離れた実用商品を問題に取り上げながら、科学的思考力や、「主体的対話的で深い学び」に即した設問ばかりになっていました。誰でも分かる大きな変化です。是非ご自身で覗いて確かめてみて下さい。